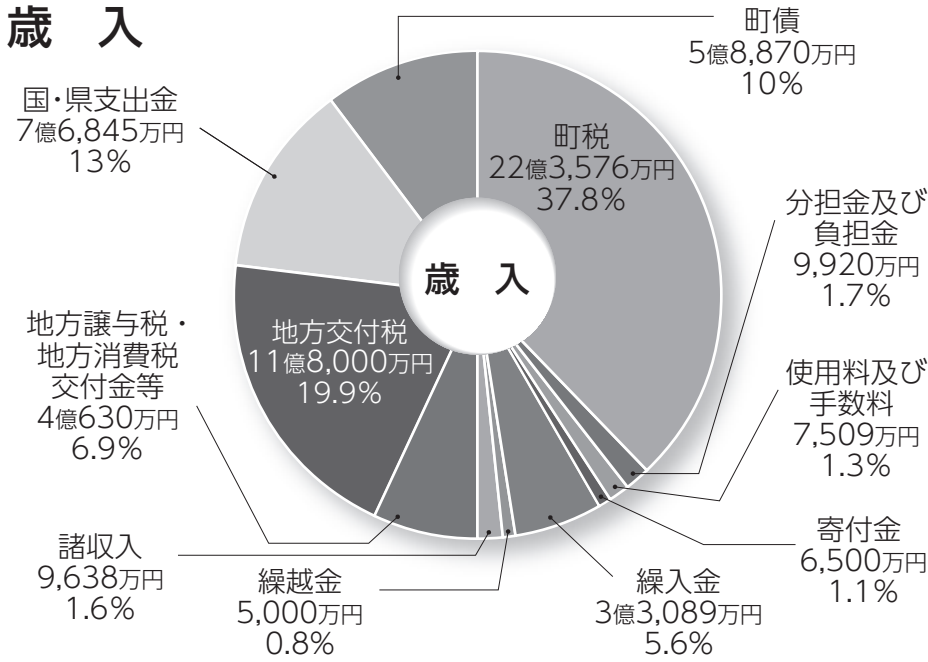


平成30年度

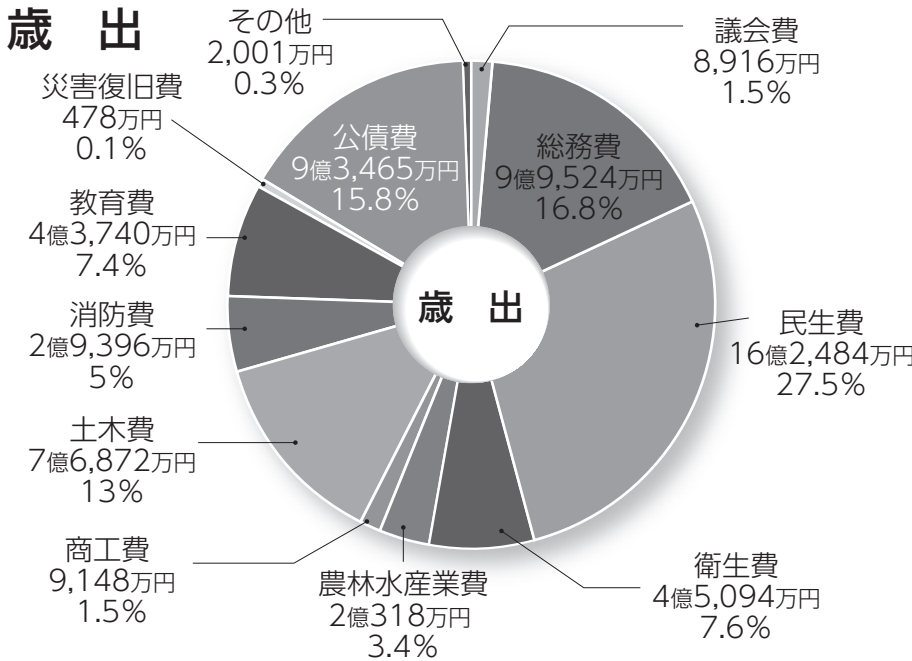
# 当初予算をお知らせします

一般会計 予算総額 **59億1,643万円**

## 歳入



## 歳出



平成30年度一般会計当初予算は、前年度に比べ13億6,706万円(△18.8%)の減となっております。

主な要因は役場新庁舎建設事業については車庫棟工事を残し、庁舎本体の建設が完了したことにより、総務費が15億500万円(△60.2%)減となっていることです。

また、都市再生整備計画事業(道路整備)および社会資本整備総合交付金事業(橋梁・道路修繕)が1,085万円、町単独道路新設改良事業は2,540万円の増となり、ほかにも、旧メルシャン美術館跡地の整備用排水路等の農業基盤施設改良事業、地域福祉センターの長寿命化工事、雪窓保育園の施設改良等の建設事業が歳出の増要因となっています。

これらの建設事業には、普通交付税措置のある有利な起債を活用することにより、歳入予算を確保しました。

歳入については、役場庁舎建設事業費の減に伴い基金繰入金が8億9,145万円(△72.9%)、町債が4億40万円(△40.5%)の減、町税については1,635万円(△0.7%)の減となっています。

問い合わせ先  
企画財政課財政係  
(32)3112

## 主な用語の解説

### 歳入

町税…町民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税など  
 繰入金…一般会計と特別会計の間でやりとりするお金  
 地方譲与税・地方交付金…町の人口など様々な基準に応じて県からもらえる消費税交付金等 お金  
 地方交付税…地方公共団体が等しく事業をできるように一定の基準で国から交付されるお金  
 国県支出金…特定の事業の経費に充てるよう国と県から交付されるお金  
 町債…大きな事業や公共施設等を建てる時に町が借りのお金

### 歳出

総務費…税務・戸籍・選挙事務・庁舎管理などにかかるお金  
 民生費…高齢者や障がい者、児童福祉などにかかるお金  
 衛生費…健康診断やゴミの処理などにかかるお金  
 土木費…道路や橋、公園の建設や維持管理にかかるお金  
 消防費…消防や防災にかかるお金  
 教育費…学校教育や生涯学習にかかるお金  
 公債費…町の借金を返済するためのお金

## 歳出予算性質別集計表

性質別で予算を見ることによって、どんなものにお金を使用されているかが分かります。

区分	30年度予算額	構成比	29年度予算額	対前年度		
				増減額	伸率	
義務的経費	人件費	100,733万円	17.0%	99,728万円	1,005万円	1.0%
	扶助費	55,137万円	9.3%	54,395万円	742万円	1.4%
	公債費	93,465万円	15.8%	92,887万円	578万円	0.6%
	小計	249,335万円	42.1%	247,010万円	2,325万円	0.9%
投資的経費	普通建設事業費	78,994万円	13.4%	221,093万円	△142,099万円	△64.3%
	災害復旧事業費	469万円	0.1%	467万円	2万円	0.4%
	小計	79,463万円	13.5%	221,560万円	△142,097万円	△64.1%
その他の経費	物件費	120,169万円	20.3%	116,642万円	3,527万円	3.0%
	維持補修費	3,608万円	0.6%	2,925万円	683万円	23.4%
	補助費等	65,177万円	11.0%	65,781万円	△604万円	△0.9%
	積立金	3,365万円	0.6%	4,272万円	△907万円	△21.2%
	繰出金	68,526万円	11.6%	68,159万円	367万円	0.5%
	予備費	2,000万円	0.3%	2,000万円	0万円	0.0%
	小計	262,845万円	44.4%	259,779万円	3,066万円	1.2%
合計	591,643万円	100%	728,349万円	△136,706万円	△18.8%	

### 【義務的経費】

職員や行政委員にかかる人件費、医療扶助などの社会保障にかかる扶助費、公債費、すべての項目において前年度よりも増加し、義務的経費全体では2,325万円増となっています。

また、義務的経費が予算全体のおよそ42%を占めていることが分かります。

### 【投資的経費】

災害にかかる復旧工事等についてはほぼ同額計上となっています。

町の道路や施設等の工事にかかる普通建設事業費は、新庁舎本体の建設が完了したことによりおよそ17億4,000万円減となっていますが、本年度は新庁舎の車庫棟工事、旧メルシャン美術館跡地整備、地域福祉センターの長寿命化工事、雪窓保育園改修等の施設にかかる多数工事に加え、社会資本整備総合交付金を活用した道路橋梁改良や町単独道路新設改良、用排水路改良のインフラ整備工事が増となっていることにより、普通建設事業費全体ではおよそ14億2,000万円の減にとどまりました。

### 【その他の経費】

臨時職員賃金や委託料等にかかる物件費が予算全体のおよそ20%を占めていることが分かります。物件費の主な増要因は、庁舎移転や電算システムの更新を控えていることから、委託料がおよそ6,800万円増となっていることです。

これにより、その他の経費全体では3,066万円増となっています。